

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

インフラの健全性を次世代に引き継ぐため

老朽化した橋梁を
架替えます

地元の
声

・橋が古いので地震で壊れないか心配。(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所: 館林市入ヶ谷町～明和町入ヶ谷
- 事業内容: 老朽橋梁架替 橋長 35.5m 道路幅 9.2m (R3年度) 16人/12時間(歩行者) 13台/12時間(自転車)
- 事業期間: 平成27年度～

事業前

- ◆ 老朽化によって、橋の健全度が低下しつつあり、かつ耐震性が現行基準を満足していないため、大規模地震時に落橋等の可能性があります。



事業前の状況

事業後

- ◆ 橋梁の架け替えにより、橋の健全性を改善するとともに、耐震性能を満足させ、大規模地震時における安全な通行空間を確保します。



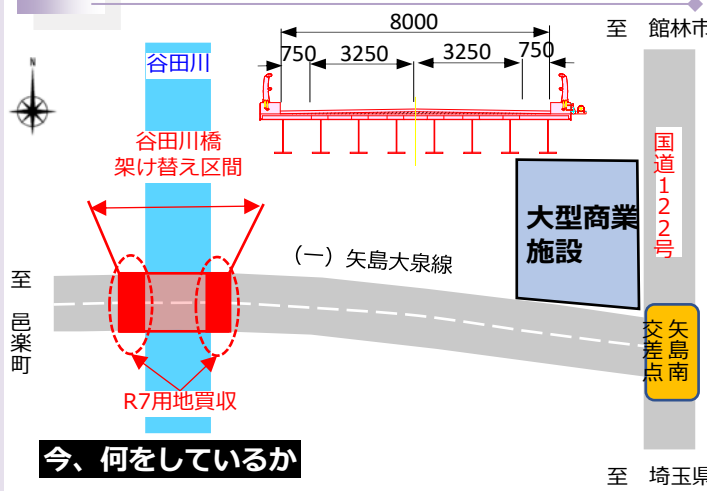
事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
大規模地震に対する耐震性能	耐震性能を満足しない
道路橋の機能の確保	主要部材(主桁等)に損傷あり

実施後(目標)
耐震性能を満足する
損傷なし

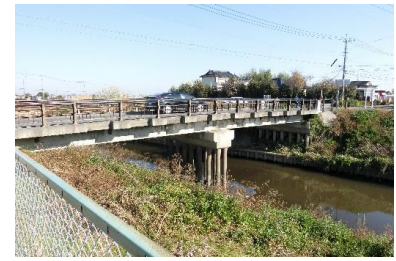


事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度は、用地取得を進めていきます。



事業のすすみ具合

